１０月　会員夫人誕生日　おめでとうございます

10月　6日　大地庸元会員夫人　町子様　　10月　9日　荻原　奨会員夫人　美津子様
10月11日　人見和浩会員夫人　美穂様　　10月17日　中川静夫会員夫人　真由美様
10月20日　伴井敬司会員夫人　絹子様

【10月定例理事会議事録】

1.クリスマス家族会について、子どもたちも楽しめるパフォーマーを元に演出を検討するとともに、プレゼント交換の方法についても協議しました。詳細に関して次回11月理事会で最終決定する予定です。
2.地区補助金を活用した熊本被災地支援について、55万円全額を現地支援に充て、宇城市豊野町でのキッチンカーによる食事提供等を検討しています。11月7日・15日を候補日として、現地と調整を進めます。
3.子ども食堂との連携では、11月19日の例会に関係者をお招きし、活動内容や意義について卓話をいただくこととなりました。今後の具体的な支援について検討してまいります。
4.秋田会員ご推薦の大鶴次郎氏が入会候補者として承認されました。
5.みなみフェス2026については、キッチンカー出店の取扱いや販売による差額の寄付について確認・協議を行いました。
6.事務局のIT環境整備について、PCの性能やデータの保管・バックアップ体制を見直し、Google Driveや各種ツールの導入を含めた環境整備について検討を進めることとなりました。



創立50周年時計塔が完成し、記念撮影を行いました。

これからの予定
10月　9日（金）IM第4組会長幹事会（金輪会）　　10月15日（木）例会
10月18日（日）「END POLIO NOW×スポGOMI」　　10月22日（木）例会
10月23日（金）～25日（日）三姉妹合同例会（釜山西北RC）
10月29日（木）休会
10月31日（土）11月1日（日）社会奉仕・青少年奉仕活動「みなみフェス」
11月　5日（木）例会・定例理事会
11月12日（木）例会

WEEKLY BULLETIN
OSAKA NAMBA
大阪難波ロータリークラブ週報

２０２６．１０．８　№２３３１



２０２６-２０２７年度 国際ロータリー会長
オラインカ・ハキーム・ババロラ
会長メッセージ「持続可能なインパクトを生み出そう」
（第2660地区ガバナー 横田孝久）

今日の卓話	次回の卓話	ロータリー４つのテスト
１０月８日（木） テーマ 「ガバナー公式訪問」 卓話者 国際ロータリー第2660地区 横田孝久 ガバナー	１０月１５日（木） テーマ　　米山月間卓話 「モンゴルと日本の関係について」 卓話者　ガワドルジニャムドルジさん 卓話担当者　久保幸一カウンセラー	言行はこれに照らしてから １．真実かどうか ２．みんなに公平か ３．好意と友情を深めるか ４．みんなのためになるかどうか

第１２回例会 本日のプログラム

開 会 （点鐘） 通算第２３３１回例会
・ロータリーソング「それでこそロータリー」
・歌　　岡本優香さん
・ピアノ　　倉田栞名さん
　　髙山理帆さん（交替制）
・来客紹介　　友好委員
会 食
・会長報告　　森田 納会長
・幹事報告　　三島敏宏幹事
・委員会報告　各委員長
・出席報告　　出席委員
・ニコニコ箱報告　ＳＡＡ
・卓話
閉 会 （点鐘）

♪ それでこそロータリー

どこで会っても やあと言おうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それでこそ ローロー ロータリー

ニコニコ箱報告	
前回の合計	￥１５７，５８０
本日までの累計	￥１，４７１，１６０（77%達成）
10月末の予算額	￥１，９００，０００

出席報告		
前回 １０月１日		３週前 ９月３日
会員総数	７８名	出席免除を除く MUを含む 修正出席率８４.７２％
出席会員数	６２名	
出席率	８１％	

大阪難波ロータリークラブ　　例会日時 毎週木曜日 １２：３０
創立 １９７６年８月５日　　例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間
会長：森田 納　幹事：三島敏宏　会報・雑誌委員長：内園彰人　事務局：安部亜希子
事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海大阪５階
TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957 e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

10月は「地域社会の経済発展月間/米山月間」です

前回の記録 第１１回 １０月１日（木）

★来客紹介：藤原誠友好委員

ゲストスピーカー　宮ケ原祥三様
大阪南ＲＣ　鈴木慶一様
大阪北ＲＣ　野村政市様
川浦会員ゲスト　柴　和也様
川浦会員ゲスト　村田将樹様
内園会員ゲスト　白井輝良様


宮ケ原祥三様


鈴木慶一様


野村政市様


柴　和也様


村田将樹様


白井輝良様

★会長報告：森田会長

1.地域社会の経済発展月間および米山月間にあたり10月は「地域社会の経済発展月間」であり、人口減少や雇用の喪失という課題に対し、ロータリーは自立のための環境整備や起業家育成、就労支援を通じて地域再生を目指しています。
また今月は「米山月間」でもあります。日本のロータリー創設者である米山梅吉翁は、向学心ある青年や東南アジアの留学生を匿名で援助し続けました。昭和21年に米山翁が亡くなった後、その遺徳を偲んで昭和28年に「米山基金」が設立され、昭和33年からは本格的な奨学事業として全国へと拡大しました。これが現在の「ロータリー米山記念奨学会」です。
米山奨学事業の基本理念は「反省と感謝」です。太平洋戦争による被害への反省と、戦後の支援に対する感謝を形にするため、アジアをはじめとする各国から留学生を迎え入れ、国際理解と親善を深める国際奉仕を行っています。米山翁が名を明かさず陰ながら見守った 奥ゆかしさと若者への温かい思いがこの事業の原点であり、その精神を胸に行動で示していくことが求められています。

★幹事報告：三島幹事

1.本日例会終了後、、定例理事会を開催させていただきますので、理事役員の方はご出席ください。
2.地区大会登録料をまだお納めでない方は、お振込みよろしくお願いいたします。
3.来週10月8日はガバナー公式訪問です。例会前の11:15～入会3年未満の会員の皆さん、11:45～理事役員の皆さんと横田ガバナーとの懇談会がございますのでお時間許す方はご出席ください。
4.米山豆辞典が届きましたのでご活用下さい。

★委員会報告

◇米山奨学会：久保カウンセラー

先週の27日（日）米山奨学生レクリエーションにて宝塚歌劇を観てきました。ロータリアン89名、学友9名、奨学生66名の計164名で参りました。とても質の高い歌劇でドルジさんも大喜びでした。

◇50周年実行委員会：林委員長

時計塔完成報告。本日、例会後写真撮影を行いますのでよろしくお願いいたします。

★ニコニコ箱報告：服部副SAA

森田　納：RAC例会、前田会員お疲れ様でした。
三島敏宏：本日なんば広場時計記念写真撮影を行います。皆様宜しくお願いします。
大地庸元：心うれしいこと。
荻原　奨：50周年時計台を記念して。
林　博之：時計塔やっと完成しました。大変お待たせをし申し訳ございませんでした。やれやれ。
松浦孝尚：時計設置、林50周年実行委員長並びに50周年実行委員の皆様、お疲れ様でした。
伊藤　仁：誕生日、自祝。
赤坂　宏：欠席お詫び。
荒山義雄：本日よろしくお願いいたします。
秋田祐作：50周年記念碑設置おめでとうございます。
藤原秀之：例会欠席お詫び。
岡野邦男：例会欠席お詫び。10月もよろしくお願いいたします。
上江ひとみ：いつもお世話になっております。10月もよろしくお願いいたします。
前田文恵：50周年記念碑設置おめでとうございます。
藤井圭一郎：秋空の元、スタートしました。今月もよろしくお願いします。
山岸宣雅：本日卓話、宮ケ原生活安全課長ありがとうございます。
河　宗啓：欠席ばかりで申し訳ありません。
西村勇二：今月もよろしくお願いいたします。
池上裕也：例会欠席お詫び。
藤井一樹：決算が無事終わりました、自祝。
藤原　誠：例会欠席お詫び。10月もよろしくお願いいたします。
岩﨑達朗：例会欠席お詫び。
服部好恵：欠席お詫び。

★大阪難波ＲＡＣへのニコニコ箱報告

森田 納：10月も頑張って行きましょう。

累計￥１６９，０００

★テーマ　「治安情勢と 防犯対策について」
卓話者　大阪府南警察署生活安全課長警視 宮ケ原祥三様
卓話担当者　山岸宣雅 会員

大阪府警察南警察署生活安全課長の宮原様をお招きし、「昨今の犯罪情勢を踏まえた防犯対策」をテーマにご講演いただきました。
大阪府内における令和7年中の特殊詐欺の認知件数は4,830件、被害総額は約339億円と過去最悪を記録しました。今年8月末時点の状況では、認知件数は昨年を下回っているものの、被害金額は約215億円と、昨年を上回る過去最悪のペースで増加しています。特筆すべきは被害者の年齢層の変化であり、かつては65歳以上が約7割を占めていたところ、現在は64歳以下の現役世代が上回っています。この背景には、自宅の固定電話だけでなく、個人のスマートフォンへ直接かかってくるケースが増えていることがあります。
かつて猛威を振るったATMでの還付金詐欺については、大阪府の安全なまちづくり条例の改正（ATMの限度額引き下げや操作中の通話禁止など）により、現在は劇的に減少しています。一方で、現在急増しているのが「偽警察詐欺」と「SNS型投資詐欺」の2つです。偽警察詐欺は、主に国際電話から架電が始まり、LINEなどのSNSに誘導されたうえで、逮捕状や警察手帳の画像を示されて「守秘義務がある」と周囲から孤立させられます。その上で、現金を指定口座に振り込ませる手口のほか、最近では逮捕を免れる名目で「金（ゴールド）」を購入させ、指定の場所に置かせて奪い取るという新たな手口も確認されています。なお、警察がLINEで連絡をしたり、捜査名目で金銭を要求したり、守秘義務を課したりすることは絶対にありません。
また、SNS型投資詐欺についても、50代・60代を中心にインターネット広告を入口として大きな被害が発生しています。グループトークへ誘導され、有名投資家を名乗る人物から「必ず儲かる」「いつでも引き出せる」と巧みに信じ込まされ、利益が出ているように見せかけられて多額の資金を騙し取られます。こうした特殊詐欺を防ぐ最も有効な手段は、詐欺の入り口となる国際電話等の怪しい着信を防ぐことであり、警察庁推奨の着信ブロックアプリの導入や、企業ぐるみで従業員を守る「従業員を詐欺から守ろう運動」への参加が推奨されました。
さらに、近年大きな社会問題となっている「匿名・流動型犯罪グループ（トクリュウ）」についても言及がありました。従来の暴力団とは異なり、組織構造や中核となる中心人物が匿名化されているため、逮捕されるのは使い捨ての末端実行犯ばかりという特徴があります。強盗などの凶悪事件の前には、必ず住宅の下見活動が行われており、不審な覗き込み、写真撮影、Wi-Fi営業などを装った在宅確認、家へのマーキングなどが確認されています。少しでも不審な人物や状況に気づいた場合は、迷わず警察へ情報提供することが重要です。また、SNSの高額なアルバイト等をきっかけに犯罪に加担してしまうケースでは、一度関わると個人情報を握られて抜け出せなくなる若者や少年が多く存在します。周囲で不審な兆候や「闇バイト」に関わっているかもしれない若者を見かけた際は、本人や家族の保護も含めて早めに警察へご相談いただきたいとの呼びかけがなされました。
特殊詐欺と匿名・流動型犯罪グループの対策は、10月からの地域安全運動でも全国の警察における最重点として取り組まれており、日頃の私生活から十分な警戒を持つよう強く呼びかけられ、講演が締めくくられました。






今月お誕生日を迎えられる会員各位